



今月のトピック

早めの遮光剤活用で
高温に備えましょう！



これからの時期は日射が強くなり、ハウス内が高温になりやすく、また、直射日光によりトマトやイチゴの果実に影響が出てきます。果実への障害軽減、管理作業を快適に行うためにも、ハウスへの早めの遮光剤・遮熱剤の塗布をおすすめします！

遮光剤・遮熱剤とはどんなもの？

● 遮光剤、遮熱剤とは？

遮光剤や遮熱剤は、ハウスの屋根表面に塗布することで、ハウス内に入る光の量や光の質を変化させることができます。長期的に植物を高温・強日射から守りたいときにおすすめです。遮光剤の濃度により遮光率が変えられるため、栽培品目や栽培管理に合わせて調節ができることもメリットです。春は遮熱剤や遮光剤、夏は遮光剤+遮光カーテンといったように、二重カーテンともうまく組み合わせて、光や温度を調整していきましょう。


● 遮光剤と遮熱剤の違いは？

【遮光剤】

太陽光を反射し、トマトやイチゴを熱と光から守ります。

【遮熱剤】

太陽光のうち温度上昇のもととなる熱線を多く反射し、光合成に必要な光は遮光剤よりも多く透過させることができます。

 春から初夏にかけて、温度は下げたいけれど光合成に必要な光は取り込みたい！という場合は『遮熱剤』が、夏になりとにかく暑くて光は十分にある！という場合は『遮光剤』がおすすめです。

トヨタネがおすすめする遮光剤・遮熱剤

● SUDLAC [スディラック] 製品

水ベースで作られており、環境に優しく、匂いがしません。

『エクリプスFシリーズ』【遮光剤】

ハウスに入る光を反射します。「F4」、「F6」といった数字は持続期間を示しますが、降雨量が多く紫外線の強い日本では、F4で3ヶ月ほどの持続期間となります。雨等により自然に落ちるため、除去を焦らない場合は除去剤不要です。

【参考希釈率と効果 10aあたり】

使用数(缶)	希釈率(遮光剤:水)	水量(L)	遮光率(%)
3	1:3	180	80
2	1:5	200	68
1	1:10	200	45



▲エクリプスF4



商品をもっと詳しく
知りたい方はこちら！

●SUDLAC [スディラック] 製品

『トランスパー』【遮熱剤】

ハウス内の温度上昇に影響する赤外線を反射しますが、光合成に有効な光は透過します。効果は5～7ヶ月持続します。トランスパーはジェル状のため、水で希釈しやすい製品となっています。自然に分解されていきますが、早く落としたい場合は除去剤を使用します。


【参考希釈率と効果 10aあたり】

温室内の 変化(℃)	PAR光線の 透過率(%)	希釈率 (遮熱剤：水)	必要数 (缶)	水量 (L)
-6	72	1：3	3	130
-4	84	1：5	2	150

※PAR…光合成有効放射



▲トランスパー

 商品をもっと詳しく
知りたい方はこちら！

●ReduSystems [レディシステム] 製品

溶剤で遮光・遮熱成分を溶かしており、雨や紫外線に強くなっています。

『レディソル』【遮光剤】


効果の持続期間は散布濃度や気候で大きく変わりますが、およそ2～3ヶ月です。早く落としたい場合やきれいに落としたい場合は、除去剤を使用します。

【参考希釈率と効果 10aあたり】

使用缶数 (缶)	希釈率 (遮光剤：水)	水量(L)	遮光率(%)	遮熱率(%)
3.5	1:2	100	39	44
2	1:4	120	33	30
1.5	1:6	135	28	24
1	1:10	150	22	20



▲レディソル

 商品をもっと詳しく
知りたい方はこちら！

『レディヒート』【遮熱剤】


効果の持続期間は散布濃度や気候で大きく変わりますが、およそ3～5ヶ月ほどです。早く落としたい場合やきれいに落としたい場合は、除去剤を使用します。

【参考希釈率と効果 10aあたり】

使用缶数 (缶)	希釈率 (遮熱剤：水)	水量 (L)	遮光率(%)	遮熱率(%)
4.5	1:3	150	25	44
3.5	1:4	160	16	30
2.5	1:5	170	13	24
2	1:6	180	10	20



▲レディヒート

 商品をもっと詳しく
知りたい方はこちら！

● 遮光剤や遮熱剤を塗布・除去するときのポイント

【塗布時】

- 塗布時は乾かす時間を確保するために雨の前日は避けます。

＜乾燥に必要な時間の目安＞

エクリップス …30～40分 トランスペア …8時間
レディソル、レディヒート …1日

- ハウスの汚れをよく落としてから塗布します。
- 塗布する際は、かけムラなく流れ落ちないように散布します。
- 風が強い日は、遮光剤・遮熱剤が流されてきれいに塗れなかったり、近隣の住宅、施設、車、人などに付着するおそれがあるため、散布を避けましょう。

【除去時】

- 除去剤は散布前、散布中は雨が降らず、散布後に雨が降るような日に行います。
- 遮光剤・遮熱剤に適した除去剤の使用をおすすめします。

＜遮光剤・遮熱剤に適した除去剤＞

エクリップス …『エクリップスネット』
トランスペア …『トップクリア』
レディソル、レディヒート …『レディクリーン』

ガンタイプノズルを使うときれいに塗れますよ！

また、動力噴霧機は、戻しの流れを利用して塗布剤を循環させると、均一に混ざります！



▲ 除去剤



商品をもっと詳しく
知りたい方はこちら！

品目別のおすすめ使用タイミング

● イチゴ

- ・本圃では、3月中旬から収穫終了までの「遮光剤」の散布をおすすめします。果実の焼けや高温により成熟が早まるのを抑え、果実品質の低下を防ぐことができます。
- ・育苗ハウスでは、梅雨明けから育苗終了までの「遮熱剤」の散布がおすすめです。ハウス温度を下げることで病気の発生や葉焼けを防ぎます。また、遮熱剤は光の透過率が高いため、遮光ネットと比べて徒長を軽減できます。

● トマト

- ・4、5月から「遮熱剤」の散布がおすすめです。早い方は3月から塗り始める方も。果実温度を下げることができ、裂果や着色不良果の減少に効果があります。また、ハウス内の温度も下がり、作業者の労働環境も改善することができます。
- ・7、8月の定植時期は、「遮光剤」の散布がおすすめです。遮光カーテンと比べてハウス内に入る光を少なくできるため、ハウス内の温度が上がりにくくなります。定植初期は、トマト苗にとって光が十分にあり、すぐに秋になることを考えると早めに分解されることが望ましいため、安価で持続期間の短い遮光剤で十分です。

植物は環境の急激な変化が苦手です。遮光剤・遮熱剤を利用して冬から春、春から夏と、ゆるやかに環境を変化させていけると、トマトやイチゴへの負担が少なくなり、草勢を維持しながら夏を迎えることができます。